

飯伊地区 産業経済動向

No.568 2026/7
(8.8.25 発行)

 **飯田信用金庫**
IIDA SHINKIN BANK
しんきん南信州地域研究所

<https://www.iidashinkin.co.jp/>
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132



Contents

表紙 写真：大勢の観客で賑わう「第49回 飯田時又灯ろう流し花火大会」

(飯田市時又・8月16日撮影) P 1

製造業 景況DIは前月からやや悪化もプラス圏を維持。先行きは横ばい見込みの声が増加 P 2

建設業 7月の公共工事は前年比減少。6月の住宅着工は前年比137%増加 P 4

商業・サービス業 景況DIは前月からやや悪化。観光シーズンが近づくも景況感好転の声は少ない .. P 5

しんきんリニア・三遠南信対策室です 三遠南信地域 路線バスの旅 Season 2 (6)
豊橋駅から浜松駅へ (2) ～姫街道を辿り、遠州路を行く～ .. P 6

飯伊地区全産業景況DIの推移・主要経済指標 P 12

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ（<https://www.iidashinkin.co.jp/>）に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならず、全国で行っています。



再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DIは前月からやや悪化もプラス圏を維持。先行きは横ばい見込みの声が増加

当月の製造業の業況判断指数（DI）プラス26.7で、前月から3.9ポイント低下。翌月予測はプラス16.7で、前月から0.4ポイント低下。当月も、先月に続いて機械製造の全分野で景況感好転の声が多く、全体での指数はやや悪化したもののプラス圏を維持した。一方、食品製造では製品値上げの影響で売上は増加している事業者が多いものの、引き続き景況感は横ばいという声が多い。先行きは、機械製造は悪化を見込む声は少ないものの、当月と比較すると横ばい見込みの声が多い。食品製造は横ばい見込みの声が多く、全体での指数は先月同様、当月よりも低い水準となった。

主な業種の動き

●電気・精密・光学

- ☑受注、販売… 販売の前月比は業者により増減分かれるが、販売は増加の声が多い。先行きについては、販売は業者により増減分かれ、こちらは横ばい見込みの声が多い。
- ☑景況感…… 当月は横ばい～好転で、悪化との声はない。先行きは業者により見方が分かれる。

〔企業からのコメント〕

- ・好調は維持しているが、頭打ち感が出てきているようにも感じる。

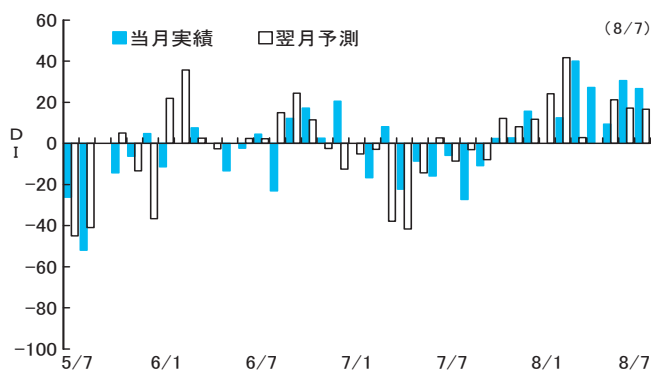
●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ☑受注、販売… 前月比は販売は横ばい～増加、受注は業者により増減分かれる。販売の先行きは、業者により増減分かれる。
- ☑景況感…… 当月の景況感は横ばい～やや好転。先行きも同様で、悪化を見込む声はなかった。

〔企業からのコメント〕

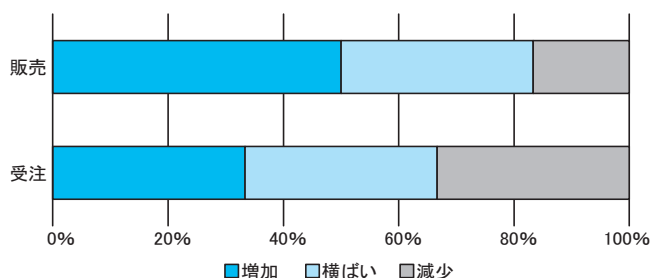
- ・「3月頃から、半導体を中心に大幅な回復が継続。8月は通常月よりは下がる傾向にあるが、前年比は上回る。また、9月以降も継続を維持する見込み。6月も通常より良かったが、7月はそれを上回る売上となり、5年前の半導体のピークに匹敵する売上となった」「出荷に何とか間に合わせている状況で、綱渡り状態の生産が続く。在庫を補充してもすぐに出荷となるため、在庫は減少したままで変化はない」
- ・半導体関連は軒並み好調との声を聞く。悪い話は聞かないが、急激な仕事量の増加に対して生産が追い付かない状況。今後も継続すると思われるが、生産のペースに多少ブレーキがかかると考えている。夏季休暇後の注文が落ち着けばそのような見方ができるが、逆に注文が増加すればまだまだ増加傾向と思われるので、引き続き動向を注視する。
- ・中東情勢の影響で、原材料については何もかも価格アップ。合わせて、超硬の材料となるタングステンも中国から入らない状況が継続し、消耗品も価格上昇中。
- ・ここのところ定年退職等で人員が減少していた矢先に、半導体の急回復が重なり人材不足。育成が間に合っていない部分もある。今後はシルバー人材等を活用し、当面を凌ぎながら計画的に人員の補充をしていく。

飯伊地区景況DI（製造業）

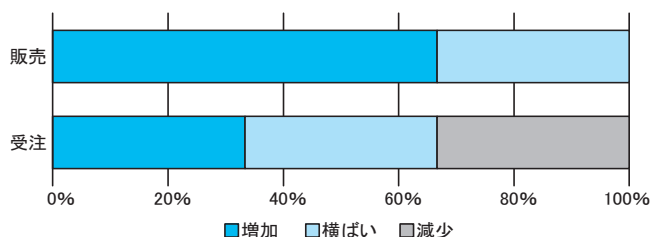


【DI（ディフュージョン・インデックス）】とは…
景気に関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。
「先月と比べて景気が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景気が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合

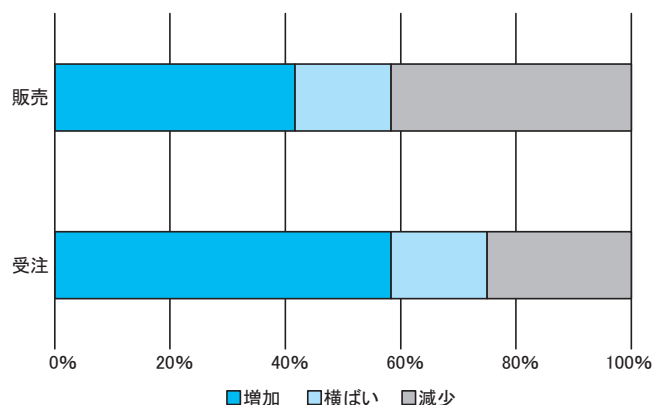


●産業機器、医療機器向け等機械部品

✓受注、販売… 受注、販売の前月比は、ともに業者により増減分かれるが、受注は増加の声が多い。販売の先行きも業者により増減分かれるが、増加見込みが最も多く、次いで横ばい見込みの声が多い。

✓景 況 感…… 当月は業者により見方が分かれるが、好転の声が多い。先行きも業者により見方が分かれ、こちらは横ばい見込みの声が多い。

産業機器、医療機器向け部品前月比回答割合



[企業からのコメント]

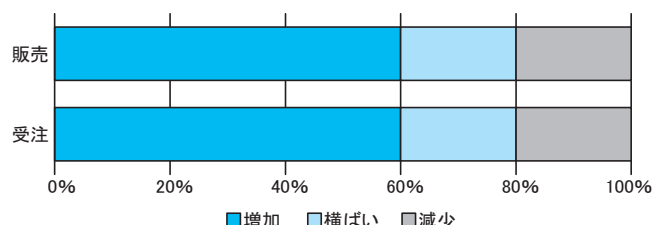
- ・半導体産業の小休止の状態で売上減少。素早い回復が望まれる。
- ・「自動車の開発がやや動きが出ていると感じる。まだ十分というレベルではない」「同業者の中でも、多忙なところとそうでないところの二極化が進んでいる」「製造業の中でも、半導体製造装置、防衛関係はかなり忙しいようで、先行きもしばらくはこの状態が続きそう」「他社も仕事が増えてきているようだ」

●食品製造（漬物、半生菓子、菓子原料、その他食品）

✓売 上…… 菓子の前月比はやや増加、先行きは横ばい～やや増加。食品全体でも前月比増加の声が多く、先行きは横ばい～増加。

✓景 況 感… 当月は業者により見方が分かれる。先行きは全ての事業者で横ばいを見込むという。

食品製造 前月比回答割合



[企業からのコメント]

- ・「お盆の長期休暇前で忙しいが、休み明けの動向が心配」「売上、受注残高とも増加したが、値上げによる効果大きい」
- ・「半生菓子業界は、製品値上げを実施している企業が多く、その影響次第」「7月より製品の値上げを実施した。他の会社でも、秋に向けて値上げを進める模様」
- ・飲食料品の消費減税を2年間限定で行うとのことだが、混乱ばかりが見込まれ、効果は疑問。

●水引製品、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

✓売 上 … 前月比は横ばい、先行きはやや増加。景況感は当月はやや悪化、先行きはやや好転を見込むという。

[企業からのコメント]

- ・生活習慣が大きな変化が続けている。商品が多種化・少量化し、金額を上乗せできず。
- ・前々から新作を模索しているが、決定的な商品はまだつかめない。正月飾りの制作に没頭しているしかない。

●上記以外の製造業

✓建築用金属製品… 販売は前月比増加、前年比ではやや減少。先行きはやや増加見込みという。景況感は当月、先行きとも横ばいという。

✓自動車向け部品… 販売は前月比やや増加、先行きは横ばいを見込む。景況感は、当月はやや好転、先行きは横ばい見込みという。

✓印 刷…………… 販売は前月比、前年比ともにやや増加。景況感は当月、先行きとも横ばいという。

[企業からのコメント]

- ・関東の建築物件は徐々に着工し始めているが、当社が受注できる仕事は当分先であり、仕事量が少ない状況が続いている。
- ・印刷業界全体として、仕事量が大幅に減ってきている。最低賃金がアップとなる見込みの中、印刷代の値上げに工賃アップ分をどこまで反映できるか、大きな課題となる。
- ・「アルミ・ステンレスの材料は、アンチダンピング課税の影響もあり、継続して値上がりしている。原油由来の資材が不足しているという理由で、塗料メーカーは製品の製造を制限していて、必要な塗料を入手できない物件が出てきている」「印刷用紙の値上げの話が出ていた中、熊本地震で日本製紙の八代工場が大きな被害を受けたことにより、一部の用紙が入手困難となり、今後値上げも本格化しそう」

建設業

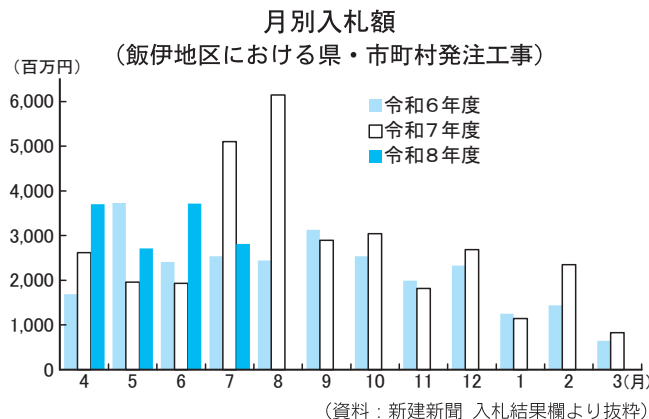
官公需

概況 7月の公共工事入札金額は前年比で44.8%減少、一昨年比では10.8%増加

- ☑公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、28.1億円（8月15日調査時点）。前年に比べ44.8%減少、2年前との比較では10.8%増加。

- ☑景況感…………… 当月は業者により見方が分かれるが、全体では横ばいの声が多い。先行きはやや悪化～横ばいで、こちらも横ばい見込みの声が多い。

- ☑原材料価格…………… 当月は横ばい～上昇で、上昇との声が多い。先行きも横ばい～上昇。



[企業からのコメント]

- ・「自治体の方から公共工事の発注が始まった」「契約額は前年並みとなった。工事高は進捗率の上昇により増加」「大型物件等の受注予定はあるものの、発注時期は遅れる見込み。県の工事は地元業者、外部業者の境がないため不利」
- ・「設備投資については重機等の導入が完了。今後は当面予定なし」「ソフトウェア関係への投資を実施」「今後、機械の更新を実施する予定」
- ・「人員を現在募集中。今後は70歳代の退職者が出るため、それを見越した採用を行う」「ハローワークに求人募集中」「業務量はあるが技術者が不足している。人員としては大きな変動はないが、今後も求人活動は続けて行う」「現状、施工社員の不足が続いている」「採用の他に、従業員の健康維持、増進にも力を入れる」

民需

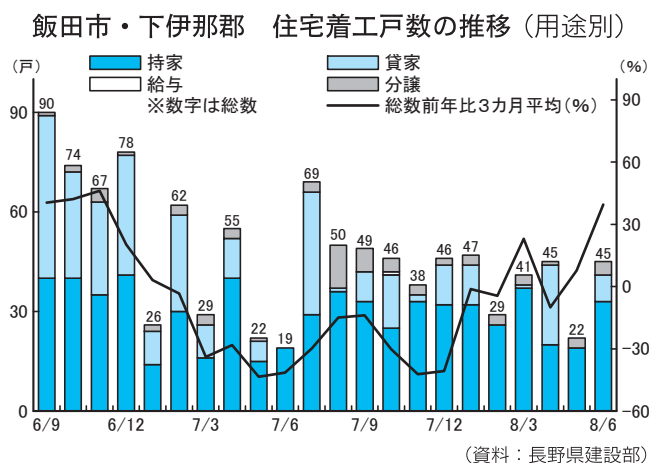
概況 令和8年6月の住宅着工戸数は45戸で前年比137%増加。

持家、貸家とも増加し、3か月ぶりに前年比プラス

- ☑住宅着工戸数… 当地区の6月の住宅着工戸数は45戸。前月比105%増、前年比では137%増。持家の戸数は33件で前年（19件）から増加、貸家は8件で前年（0件）から増加。分譲は4件で、こちらも前年（0件）から増加。

- ☑景況感…………… 当月は業者により見方が分かれる。先行きはやや悪化～横ばいで、横ばい見込みの声が多い。

- ☑原材料価格…………… 当月は横ばい～やや上昇、先行きは横ばい～上昇で、下降を見込む声はない。



[企業からのコメント]

- ・資材の価格上昇が止まらない。日銀が利上げしたことによりローンの金利も今後さらに上がっていくと思うので、住宅需要がさらに落ち込まないか心配。
- ・今後、職人不足による工事遅延が起こる恐れがある。

建設資材等

概況 7月の生コンの売上は前月比やや増加～増加、前年比は業者により増減分かれる。骨材は前月比は業者により増減分かれ、前年比はやや減少。

- ☑生コン … 売上は前月比はやや増加～増加、前年比は業者により増減分かれる。

- ☑骨材 … 売上は前月比は業者により増減分かれ、前年比はやや減少。

[企業からのコメント]

- ・7月の主な出荷はリニア関連工事、三遠南信工事、バイパス工事、飯田警察署、バイパス工事、床固工事、倉庫建設等に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は当月出荷量の4割超。
- ・生コンの工事も少しずつ増えているが、暇な日も多い。熱中症対策により工事の進捗が遅れ気味と聞いているが、危険な暑さのため無理もできない。
- ・一部の材料価格が、情勢に合わせたサーチャージを取り入れていくことになり、今後において不安もある。

商業・サービス業

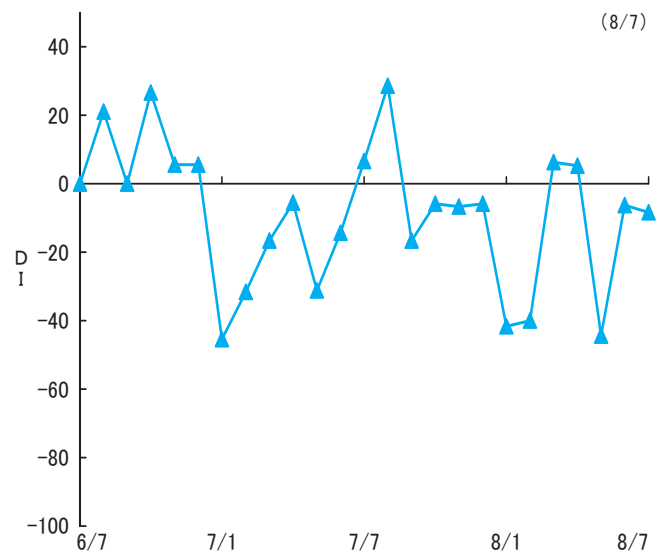
概況 景況DIは前月からやや悪化。観光シーズンが近づくも景況感好転の声は少ない

当月の商業・サービス業の業況判断指数（DI）はマイナス8.3で、前月から2.0ポイント低下。

当月は、卸売業、宿泊業で景況感好転と悪化の声がそれぞれ聞かれた以外は、景況感横ばいの声が多く、全体の指数はやや悪化した。下旬からは夏休みシーズンに入ったが、気温の大幅な上昇を受けて、小売業や飲食業の一部から猛暑による人の動きの鈍さを指摘する声が聞かれた。

次月以降では、先月と同様、卸売業、宿泊業の一部に景況感好転を見込む声が聞かれ、小売業、飲食業の一部で景況感悪化を見込む声が聞かれた。全体としては好転を見込む声と悪化を見込む声が拮抗している。また、中東情勢による影響を指摘する声は減っているが、来年度に実施される予定の飲食料品の消費減税について、飲食店の一部から懸念の声が聞かれた。

商業・サービスDI



(8/7)

主な業種の動き

●小売業 概況 売上の前月比は業者により増減分かれる。景況感は悪化～横ばい

☑売上 … 前月比は業者により増減分かれる。先行きも同様。

☑景況感 … 当月は悪化～横ばい、先行きはやや悪化～横ばい。

〔企業からのコメント〕

- ・自治体配布の商品券需要と、施設での出張販売で前年比売上増加。暑さの影響か、店頭への来店は減少。
- ・7月はやや売上増。暑すぎると人の動きが鈍くなる。ナフサの影響は特になく、ビニール袋の買い占めもなくなった。

●卸売業 概況 売上の前月比は業者により増減分かれる。

景況感は、当月は業者により見方が分かれ、先行きは横ばい～やや好転

☑売上 … 前月比で電設資材は増加。青果、食肉はやや増加。建設資材はやや減少。

〔企業からのコメント〕

- ・野菜は、主力のキュウリは入荷減も価格は高い。トマトや茄子などの夏野菜も価格高で売上を伸ばし、馬鈴薯や玉ねぎなどの土物も販売量、価格とも昨年を上回った。野菜全体では入荷減となったが、価格高の影響で売上増となった。果実は、猛暑の影響もあり地物果実は前進出荷となっており、主力の桃は入荷が大幅に増加、価格は昨年並み。スイカや早生のりんごも入荷を伸ばし、果実全体では入荷が大幅に増加、価格は安く、結果として売上増となった。
- ・猛暑によるエアコン特需が業績を押し上げた。空調設備や関連資材の需要が急増している。しかしながら、銅ベースを基準とした仕入価格が上昇しており、機材・資材ともに値上げが落ち着く気配がない。加えて人手不足も重なり、「需要は極めて旺盛」だがコスト高と人手不足の壁を乗り越えられるかが売上につながる大きな障害である。企業の対応力が試される時期だと感じる。
- ・現状は人員は充足しているが、今後高齢の従業員が勤務を続けてくれるかが心配。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 売上の前月比は、飲食業は業者により増減分かれ、宿泊業はやや増加～増加。

景況感は、飲食業は横ばい、宿泊業は業者により見方が分かれる

☑売上 … 前月比は飲食業は業者により増減分かれ、宿泊業はやや増加～増加。運輸業はやや増加。

〔企業からのコメント〕

- ・「7月の上旬から中旬にかけては店売り、宴会とも良かったが、下旬は暑すぎて生ものは売れない」「大勢の宴会が入るが、飲み放題の希望が多い。値上げも気を付けないと客離れにつながる」
- ・8月後半から9月にかけては、登山客や団体の宴会等の予約が好調。
- ・タクシー売上は前月比、前年比ともやや増加。運行回数は前月比、前年比ともに増加した。代行売上は前年比で減少が続いている。物価高騰による利用控えが影響していると考えられる。
- ・「飲食料品の消費税を1%にするのは、飲食店からすれば止めてほしい」「ガソリン暫定税率廃止や政府の補助金による効果により、ガソリンの価格は抑えられていると考えるが、中東情勢の影響が今後の懸念材料」

三遠南信地域交流たずねある記（19）

三遠南信地域 路線バス乗り継ぎの旅 Season 2（6） 豊橋駅から浜松駅へ（2）

～ 姫街道を辿り、遠州路を行く ～

豊橋駅前から姫街道の県境を徒歩で越境、浜松市浜名区三ヶ日町の本坂に到着。
浜松駅に向けてバスを乗り継いで行く。

■ 本坂でバスを待つ

徒歩による本坂バス停への到着は正午頃。本坂から出るバスは13時49分で、何と2時間近い待ち時間となる。路線バス旅をしていると、朝晩の通勤通学時間帯はそれなり動いているが、日中は疎らな運行で乗り継ぎの待ち時間は長くなることは当たり前。仕方がないのでバス停付近を散策することとした。

本坂の集落は30戸程か。前回記したように周りはミカン畑だが、ミカン畑の作業の時期ではないと見えて戸外に人影が見られない。国道362号（姫街道）の一段下を並行する道があり、その道沿いに民家が建ち並んでいる。これは国道362号の旧道で本坂峠の旧本坂トンネルに繋がっていた道路であろう。

旧道に沿って歩くと間もなく、民家の庭先のような少しの空き地に「本坂関所跡」の案内看板があり、「戦国時代に設置された」こと、「江戸期に新居に関所が置かれ、本坂道（姫街道）は気賀に関所が置かれたことで廃止となった」ことが記されている。他にも「高札場跡」「秋葉灯籠」などあり、確かにこの道路が昔の街道であったことが判る。

■ 日本書道界の聖地

バス停に戻って、国道の本坂トンネル方向のお隣に「史蹟橘神社」があった。神社の案内看板によると、橘逸勢^{たちばなのはやなり}を祀る。橘逸勢は平安時代の貴族・書家で、最澄・空海とともに遣唐使として唐に渡ったエリートであった。承和9（842）年に叛を謀った疑い（承和の変）により伊豆に配流の途上、遠江国板築^{ほおづき}駅で病没した。逸勢の娘は配流の父を追って板築駅に至ったとき父の死に出会い、この地に埋葬。落髪して妙沖と名乗り、庵を結んで供養を続けた。死後に逸勢は罪を許されて京に改葬され、生前の従五位下から、従四位下さらに正四位下を追贈されたことから、冤罪だったのであろう。

板築駅はこの地のほか、袋井市とする説もあるという。逸勢は能書家で平安時代の三筆（他は空海、嵯峨天皇）と称された。境内には逸勢を祀った祠のほか、娘の孝行を称えた旌孝碑、筆塚などがある。また遣唐使留学に因んだ「西安金金字塔完成記念碑」や日本書道院の碑など書に関する碑が見られ、書道界の聖地ともいえる趣を呈する。



姫街道の松並木



本坂バス停広場



本坂関所跡の表示



橘神社



旌孝碑、筆塚他が並ぶ

■コミュニティバスで三ケ日中心部へ、遠鉄バスに乗り換え

漸く13時49分発のオレンジふれあいバスが来た。北線の第3便というものだ。同バスは旧三ケ日町が運営したコミュニティバスで、平成の合併により浜松市に移行されたもの。

出発して、本坂橋、日比沢集落センターなど通過。この辺りで、乗車から5分も経たないうちに国道の両側は住宅や事業所が建ち並ぶ風景となり、間もなく三ケ日の中心市街地に入る。こんなことなら、先ほどの本坂バス停に止まらず、続いて30分も歩いていれば三ケ日の街中に来れたのに、と思うが路線バス乗り継ぎの旅なので致し方ない。

問題は、この先遠鉄バスの気賀三ケ日線浜松駅行きにどのバス停で乗り継ぐかだ。遠鉄バス、オレンジふれあいバスのHPを見ても乗り継ぎ方の案内が見あたらない。

そこで両方の路線図を丹念にみていくと三ケ日支所というバス停が目に入った。三ケ日支所は旧三ケ日町の役場のことで、ここなら多分間違いがないだろうとそこまで乗車することにした。

バスは国道356号(姫街道)の街中心部の「西天王町」交差点を右折し天竜浜名湖鉄道(天浜線)の三ケ日駅に立ち寄り、また国道に戻った。その先は何となく湖畔の風景になってきて、間もなく三ケ日支所に至る。乗車からここまで乗客は私一人だった。



切通バス停付近で
猪鼻湖を望む



オレンジふれあいバス
本坂～三ケ日支所 200円



三ケ日支所バス停
両路線の表示板が並ぶ



■遠鉄バスで奥浜名湖、気賀駅へと進む

遠鉄バスは5分ほどでやってきた。両路線での乗り継ぎを考慮した時刻表であろうか。三ケ日支所を出ると湖が近づく。これは浜名湖とは水路で繋がっているが猪鼻湖という別の湖になる。切通というバス停であるが、南信州地域と比べると平坦とはいえ微妙な高低差があり、この切通やその先に峠の名がつくバス停がある。野地、都筑^{つづく}を通過。都筑交差点を左折すると東名三ケ日ICへと行くことができる。



下気賀交差点を左折

東都筑、佐久米^{さくめ}と行くと右側に見える湖は浜名湖となる。またこの辺りから山間部を通っていた東名高速道路が浜名湖へ向かって降りてくる形となり、国道362号、天浜線、東名の揃い踏みで暫く進む。寸座峠^{すんざとう}の先で峠越えとなり、そこからは旧細江町となる。湖は奥浜名湖とか浜名湖（引佐細江）などと表記されている。この辺りの湖は、弁天島辺りと比べ穏やかな優しい感じ。そこを通る街道は、東海道に比して正に「姫」なのだと実感する。

下気賀交差点で左折。不自然な曲がり方と思うが地図を見ると国道362号（姫街道）となっており、山際に向かって進んでいる。よし本の先で狭い道、生活道路とでもいうような道に入る。対向車とのすれ違いが大変そうだ。長楽寺入口の先の民家の前に「姫街道」の看板が誇らしげに立っている。この狭い道路こそが往年の街道であったのだ（右写真）。



街道の雰囲気が残る細江町気賀（左）と
民家の前の「姫街道」の看板（右）

そのあと元の国道に復し、間もなく気賀駅前となる。気賀駅は国道から入ったところにあり、三ヶ日からの浜松駅行きは通過、同バス停は浜松駅～気賀駅前のバスの発着所となっている。

気賀周辺関係図



■地名としての気賀を考える

気賀であるが、前号に記したように姫街道の往来が盛んになると東海道新居の関所に対し、気賀にも関所が置かれる交通の要地であった。地名としての気賀^{きか}に着目すると、角川地名大辞典には「昭和12年までは『けが』と称した」とある。となると当地の「毛賀^{けが}」（飯田市松尾）との共通性・関連性に思いが行く。

気賀の語源については、角川同は「古地名の蹴川^{けがわ}が転じたもの」とするが、別の解説では、「毛処^{ケカ}の意、河口近くで草や雑草の多い所」（日本地名大事典）。「崩れ易い土地を表す地形地名か」ともある。

一方で毛賀については、「草木の多い小谷の地に由来」（同）、「『くえ（潰）』崖、地割れを示す語に『が』の場所を示す接尾語」とある。

現地に立った感触としては、気賀の地は山から平らになる境のところ。毛賀は山ではないが段丘の下にある。片や海で、此方は天竜川、の違いはあるが水に縁がある、と両者に共通性はありそうで、似た雰囲気のところと言えなくはない。

■ 浜松中心部へ県道261号の姫街道に行く

本日の遠鉄バス気賀三ケ日線であるが、時刻表を見ると浜松駅～気賀駅前間は毎時3本程度の1日50本(平日)あるのに対し、気賀駅前から三ケ日車庫までは1日10本になってしまう。時刻表を見ると、このほかに三ケ日車庫から東名三ケ日IC～浜松西IC経由で市内の葵町～浜松駅間を上りは降車専用(朝2本)、下りは乗車専用(夕方2本)で運行する東名経由オレンジ急行がある。このような不便に対応したものであろう。

気賀駅を過ぎて、「気賀四ツ角」という往時の街道に因んだような名称の交差点を過ぎると姫街道は県道261号となる。都田川^{みやこだ}という大きな川を渡り、その先は登り坂。これから行く三方原を含む大きな台地へ向かい標高を上げて行く感じだ。

「湖東」交差点を左折し、高台幼稚園を過ぎて右折すると聖隷三方原病院となる。昨日の新城市民病院では、病院前道路端の普通のバス停だったが、ここには敷地内にバス停があり、専門の誘導員が配置されている。何系統ものバスが発着するほか、一般車両も出入りするため、訪れたときは相当に混雑していた。何人かの乗降があってバスは発車する。

この病院は敷地面積69千㎡に診療科目50の総合病院、リハビリテーションセンター、療育センターが置かれる(同院HP)、と当地域ではなかなか想像が難しい規模となる。また続きの敷地には特養ホームも見られる。加えて教育機関として聖隷クリストファー大学(看護・リハビリテーション、社会福祉学部)、付属の聖隷クリストファー高・中・小がある。

特に聖隷クリストファー高校が本年夏の甲子園大会に静岡県代表で出場したことは記憶に新しいところ。

病院を出て大谷を通過し、元の県道261号に戻って浜松駅方面へ。振り返ると、丘の上に病院他の施設が威容を放つ光景が広がっていた。



「気賀四ツ角」交差点

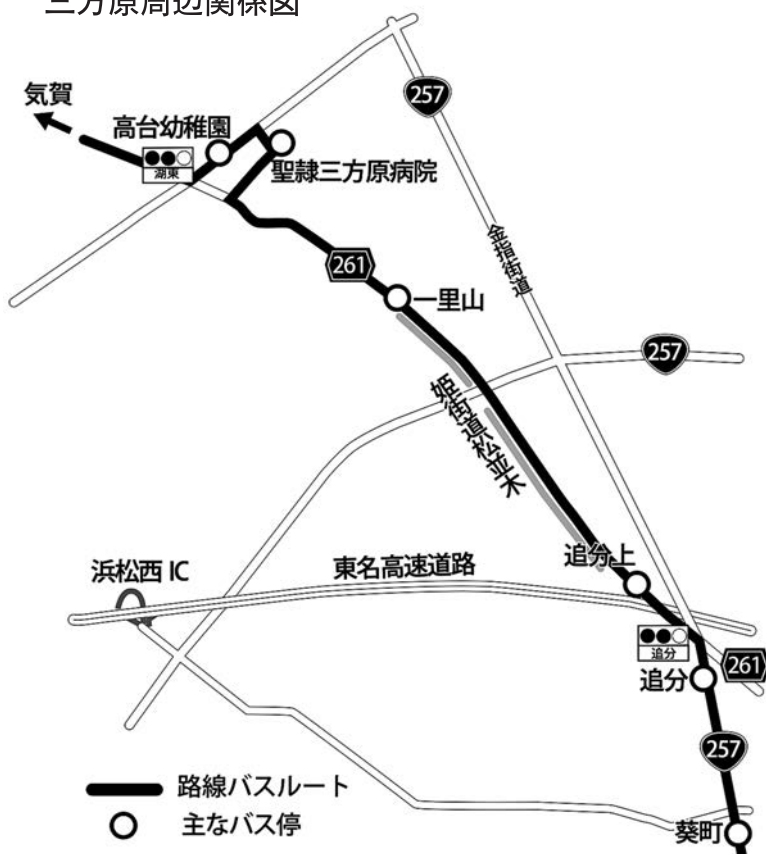


都田川



聖隷三方原病院正面(左)と諸施設を遠望(右)

三方原周辺関係図



■松並木と赤土 三方原を通過

奥大谷を過ぎ一里山の辺まで来ると姫街道の松並木が現れる（右および冒頭写真）。Season 1 で東海道の松並木を見た（舞阪）。東海道の松並木は立派だったが、姫街道のは並木の延長がとても長い。ここから「追分の交差点まで3.8kmに及ぶ（昭和34年市指定史跡）」（浜松市HP）。

地図上では道路の左側は「三方原町」で、既に三方原を走っていることを知る。気が付いたのは、両側の畑や空き地が当地で言う「赤土土」、見事なまでの赤土だったこと。赤土は根菜類に適しているとの認識だったが、三方原の赤土について農水省関東農政局は「酸性の強い粘土質の痩せた赤土で、栽培できる作物も限られ」、「乾燥に強く安定した生産が可能なばれいしょが導入」され、「栽培品種の約8割を男爵薯」、「2割はメイクイン」。三方原台地の土は、「水はけが良いため、肌がきれいでデンプン価が高く、甘みやホクホク感のあるばれいしょを生産」、「ばれいしょに合った土」（同三方原用水二期農業水利事業所HP）とまとめている。

赤土土での栽培で実感すると思うが、土に適度な水分があれば扱いやすいものの、乾くとカチカチで手を焼く。車窓からの畑に右写真のような灌水装置を使用しているのを見かけた。

■いよいよ浜松市中心部へ

追分上の先で東名高速を跨ぐ（東名が掘割りで通過）と、「追分」の交差点にかかる。これは今来た姫街道（県道261号）と金指街道（国道257号）が交差する。金指街道は引佐の金指を経て新城へと繋がる道で、信州から別所街道（現国道151号）と併せ、信州と遠州を結ぶ、いわゆる「遠州街道」を成す。信州にとって重要な道といえる。

交差点を右折し国道257号を行くことになる。姫街道は県道261号をそのまま進み、見附（磐田市）で東海道と合流するというのが自然だと思うのだが、この先257号を進むと時々「姫街道」の表示を市内で見かける（例えば葵町）ので難しいところ。この辺りから浜松市の中心部、市街地という感じが出てくる。

静岡大学では、県道沿いに大規模なキャンパスが展開している。浜松キャンパスには工学・情報の2学部と大学院（総合科学技術研究/修士課程、創造科学技術/博士課程、光医工学研究/博士課程）がある。工業都市浜松を支える存在といえるだろう。

■浜松城のすぐ近くで

「次はさいが崖」という車内アナウンスがあった。変わった名前と思いながら「崖」というワードから、曖昧な記憶の中で「もしかして三方ヶ原合戦の…」と思ったらその通りだった。さいが崖は「犀ヶ崖」で、「浜松城跡の西北約1キロメートルに位置する」「深さ10メートルを越える浸食谷」。「この犀ヶ崖辺りに夜営していた武田勢を徳川勢が急襲」、「武田方の軍が布製の橋の奇計」（谷に布を渡して橋と見せかけた）により「多くの人馬が崖に落ちて死んだ」（浜松市HP）という。



姫街道の松並木（花川町）



三方原の赤土の畑



赤土の畑への灌水



「追分」交差点



静岡大学浜松キャンパス



犀ヶ崖を見下す

現場には古戦場に因む碑が設置されており、この辺の町名は「布橋」。故事に向き合う人々の思いが付けさせた名前といえようか。

この地点は浜松城とは目と鼻の先。徳川方は正に背水の陣の心構えで臨んだに違いない。現場に行かないと判らないことがある。橋から崖を覗くと、木が生い茂ってよく見えないが相当な深さであることが判る。その隣りには浜松市の犀ヶ崖資料館が設置されている。



犀ヶ崖資料館

浜松北高では男女生徒が多数乗車。鹿谷町、美術館、市役所南。尾張町、田町、田町中央と来るといよいよ浜松駅に近づき、浜松のシンボル、アクトシティが見えてくる。

■引き続き飯田駅へ向けての旅

15時35分、バスは浜松駅へと到着。本日のうちに豊橋駅から姫街道を經由しての浜松駅へと路線バスで来ることができた。車での移動では見過ごすような事物への気づき・発見があった。

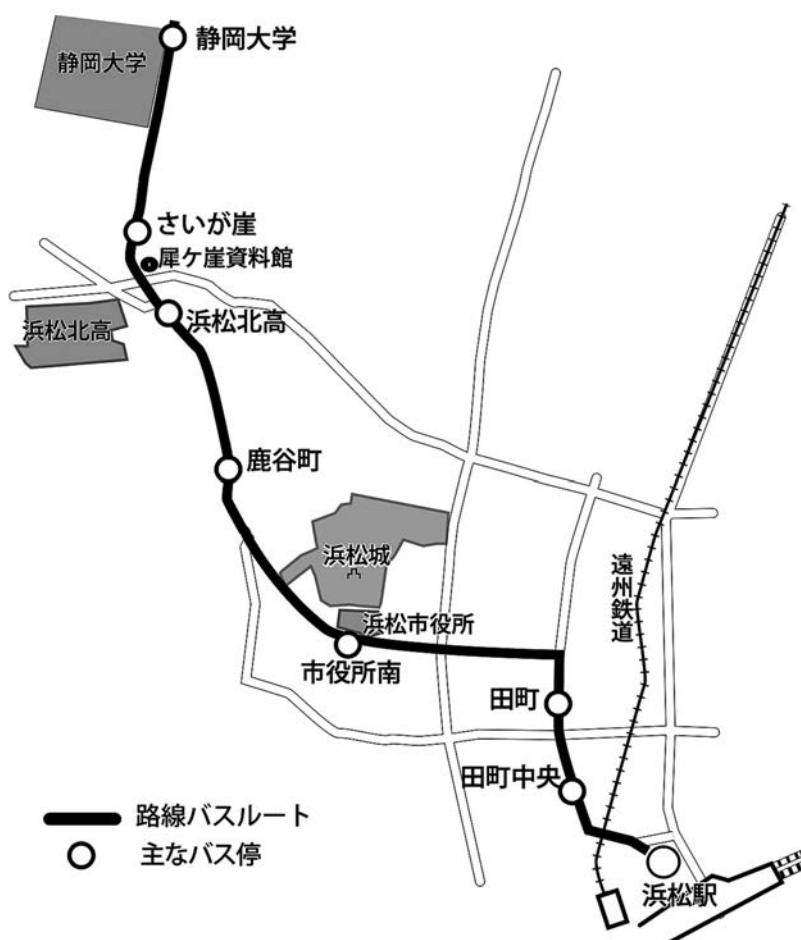
本日はまだ明るく動けることができるので、飯田駅→豊橋駅→浜松駅→飯田駅のうち最後の一辺のルート of バス旅を続けることにする。



遠鉄バス気賀三ヶ日線
三ヶ日支所～浜松駅前
800円

※「みかたはら（みかたがはら）」については、一般的な使用に倣って、地名としての「三方原」、歴史的事象の「三方ヶ原（合戦）」と表記しました。

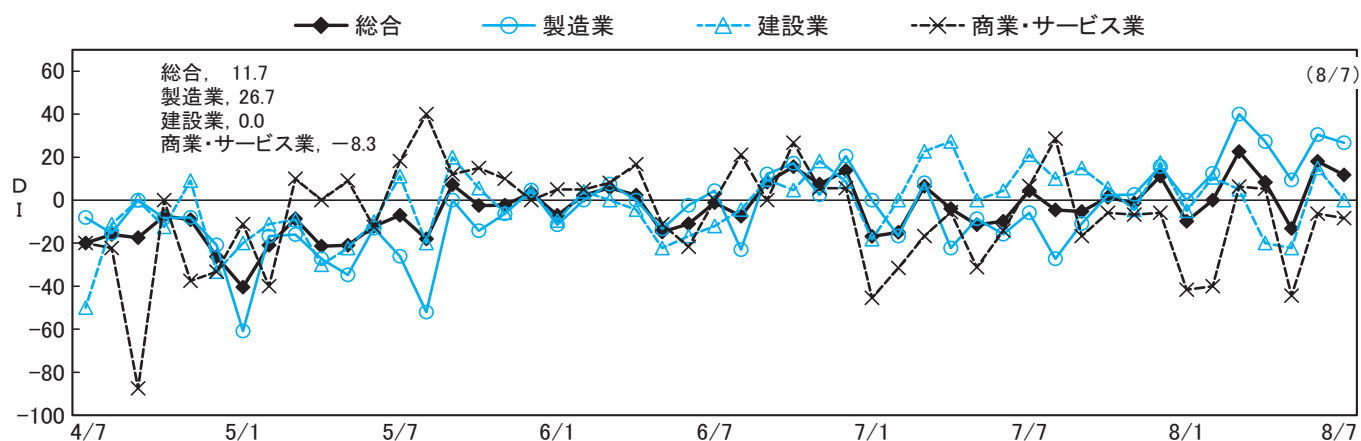
浜松市中心部関係図



(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平)

飯伊地区全産業景況 D I の推移

飯伊地区景況 D I (本誌調査)



飯伊地区主要経済指標

主 要 指 標		実 数	前 月 比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比
倒 産 件 数 (負債総額1千万円以上)	県 内	7 件	(前月 12 件)	(前年同月 6 件)	(前々年同月 8 件)	(令和元年同月 5 件)
	飯 伊	0 件	(前月 2 件)	(前年同月 0 件)	(前々年同月 0 件)	(令和元年同月 0 件)
住 宅 着 工 戸 数 (飯田市、下伊那郡 総数) (6 月)		45 戸	104.5 %	136.8 %	21.6 %	△ 21.1 %
有効求人倍率 (パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (6 月)		1.23 倍	(前月 1.15 倍)	(前年同月 1.31 倍)	(前々年同月 1.33 倍)	(令和元年同月 1.40 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新 車	2,288 台	△ 4.5 %	27.8 %	4.3 %	△ 16.3 %
	中古車	878 台	4.6 %	25.2 %	13.0 %	9.7 %
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会)	新 車	3,761 台	△ 1.4 %	1.4 %	5.0 %	△ 7.4 %
	中古車	1,129 台	△ 6.3 %	△ 2.5 %	△ 0.1 %	12.1 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	102,324 台	11.2 %	△ 2.7 %	2.8 %	△ 11.5 %
	出	101,979 台	12.0 %	△ 2.2 %	0.8 %	△ 13.3 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	59,093 台	10.9 %	△ 5.1 %	4.3 %	△ 25.3 %
	出	56,442 台	7.9 %	△ 5.7 %	2.8 %	△ 25.5 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	12,641 台	33.7 %	△ 13.1 %	△ 11.9 %	△ 1.7 %
	出	11,812 台	28.7 %	△ 7.7 %	13.0 %	△ 10.7 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	51,110 台	19.1 %	△ 5.6 %	△ 3.2 %	25.2 %
	出	48,914 台	18.3 %	△ 9.1 %	△ 11.9 %	22.2 %
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	49,856 台	9.7 %	1.4 %	13.0 %	— %
	出	50,957 台	9.7 %	1.9 %	13.1 %	— %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		138 件	△ 2.1 %	7.8 %	21.1 %	△ 15.3 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		11 件	(前月 2 件)	(前年同月 9 件)	(前々年同月 10 件)	(令和元年同月 3 件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	22,966 人	23.3 %	2.1 %	8.5 %	△ 12.7 %
	飯田～名古屋	14,300 人	16.3 %	2.8 %	9.8 %	△ 22.1 %
	飯田～長野	4,936 人	△ 5.3 %	6.8 %	31.7 %	△ 47.6 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	19,866 人	28.1 %	4.0 %	10.5 %	△ 8.0 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,533 人	7.0 %	16.9 %	11.5 %	△ 6.4 %
	右回り	3,275 人	2.7 %	△ 0.7 %	2.2 %	△ 9.7 %